

令和5年度の事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人灯す屋

1 事業の成果

令和5年度は当団体のビジョンである「一人ひとりがおもしろい未来を描ける社会」の実現を目指して、様々な事業に取り組んだ。実施した事業は以下のとおりである。

<空き物件の管理及び活用推進事業>

前年度に引き続き、「空き家マッチング事業」（有田町委託）では、空き物件の相談窓口の開設、空き物件インフォメーションの運用、空き物件見学ツアーの企画・運営を行った。

また自主事業としては、空き物件を活用した「灯すラボ実験室 A（以下、実験室 A）」及び「灯すラボ実験室 B（以下、実験室 B）」の運営・管理を行った。実験室 A は、コリビングスペース（他拠点居住者・中期滞在者向けのシェアハウス及びコワーキングスペースの機能を有する）として運用を行い、年間延べ10名が利用した。実験室 B については、不定期イベント「灯すラボポップアップ」の会場として6回使用した。また子供の居場所づくりの取組みとして「灯すラボアフタースクール」（有田町委託）を通年で週1回開催した他、大人の学びの場として「灯すラボライター講座」を実施した。このようなプログラムを実施することで、地域内外の人の交流や仲間づくりに貢献することができた。

新規事業としては、佐賀県庁社会福祉課による生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム補助金を活用して、「白川 みんなの農園」の整備及びお披露目イベントを開催した。また、佐賀県庁教育振興課及び一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム（本社：島根県）との協働による佐賀県立有田工業高等学校の県外留学生のための寮整備のために、有田町内の空き家2軒を確保、交渉及び改修補助を行った。

11月には有田町内山地区にて地域活性化イベント「うちやま百貨店」を開催した。15の物件を活用し、30の出店・企画を実施した。今回は内山地区を3つにエリア分けし、弊団体だけでなく中心となって集客・運営を行ってくれる事業者と共に実施した。

この他、昨年度より引き続き、地域で自分なりのおもしろさを見出し暮らしている人たちを紹介する「クリエイティブマガジン 灯すラボ」（ウェブサイト）の企画・運営（取材先選定～取材～記事公開）を実施し、8本の記事を公開した。

<移住・定住支援事業>

有田町の新規委託事業として、お試し有田暮らし事業を企画・運営した。将来的な有田町への移住・起業を希望する2名が有田町のゲストハウスに約1週間暮らし、その間に町民との交流会参加やイベント（うちやま百貨店）への出店などを行っていただいた。また、佐賀県庁産業政策課の新規委託事業として、佐賀県移住起業支援事業の運営を行った。県外在住で佐賀県への移住及び起業を検討する方の相談を22件受け、そのうち2名が実際に佐賀県への移住及び起業を達成した。

<後継者育成支援事業>

ちやわん最中プロジェクトは、新しい切り口での商品開発2件（7窯元による有田焼ミニ茶碗・有田焼絵付師など地域クリエイターによる包装紙の制作）に取り組んだ。定期販売、オンライン販売、ふるさと納税（有田町・佐賀県）、最中種の卸販売など、多様な販売形態を継続し、イベント（う

ちやま百貨店や雛のやきものまつり) 期間中は、複数の事業者と協力し、スタンドや臨時喫茶を開いた。また佐賀県観光連盟からの委託により、県内の6つの飲食店とコラボメニューを開発し、期間限定で販売した。SNS での発信、新聞・テレビ等のマスメディアで広報を行った他、福岡県で開催された展示会に出展し、有田町及び灯す屋のPRを行った。

デザイン室は、炎の博記念堂の文化事業5件の広報支援(チラシ・ポスターの制作に関わるディレクション、SNSでの発信のサポート)を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位:千円)
①空き物件の管理及び活用推進事業	空き物件に関する情報発信を行う。また、相談窓口を開設する。(有田町委託)	(A)週5日 (B)灯す屋事務所 (C)3人	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)43人	9549
	空き家や空き店舗を巡る見学ツアーを実施し、YouTubeで発信する。(有田町委託)	(A)年6回(10本) (B)有田町内 (C)2人	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)6000人	
	空き物件(灯すラボ実験室A/B、アリタスタートアップハウス)の運営・管理を行う。	(A)通年 (B)有田町内 (C)2人	(D)灯すラボ利用者、移住(検討)者 (E)15人	
	空き物件(灯すラボ実験室A/B)で、イベントや講座を開催する。	(A)通年 (B)有田内山地区 (C)10人	(D)出店者、町民等 (E)200人	
	空き店舗を活用したイベント(うちやま百貨店)を開催する。	(A)11月 (B)有田町内 (C)8人	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)6000人	
	灯すラボウェブを更新し、定期的な情報発信を行う。	(A)11~3月 (B)灯す屋事業所 (C)3人	(D)移住検討者等 (E)152人	
②移住・定住支援事業	有田町の移住希望者へのお試し暮らしの企画運営を行う。(有田町委託)	(A)11月 (B)有田町内 (C)5人	(D)移住希望者 (E)2人	5799
	佐賀県に移住し起業することを旨とする県外居住者を支援する。(佐賀県委託)	(A)通年 (B)佐賀県内 (C)3人	(D)移住希望者 (E)22人	
③後継者育成支援事業	ちやわん最中の販売及び新商品開発、イベント企画運営を実施した。	(A)通年 (B)灯す屋事務所 (C)6人	(D)町民、観光客、事業者 (E)10000人	15833

	炎の博記念堂の文化事業の広報支援を行った。	(A)通年 (B)炎の博記念堂 (C)4人	(D)町民、事業者 (E)500人	
--	-----------------------	-----------------------------	----------------------	--

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 物品販売事業	実施しなかった。	(A) - (B) - (C) -	-

※定款第5条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。
- 3 「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。